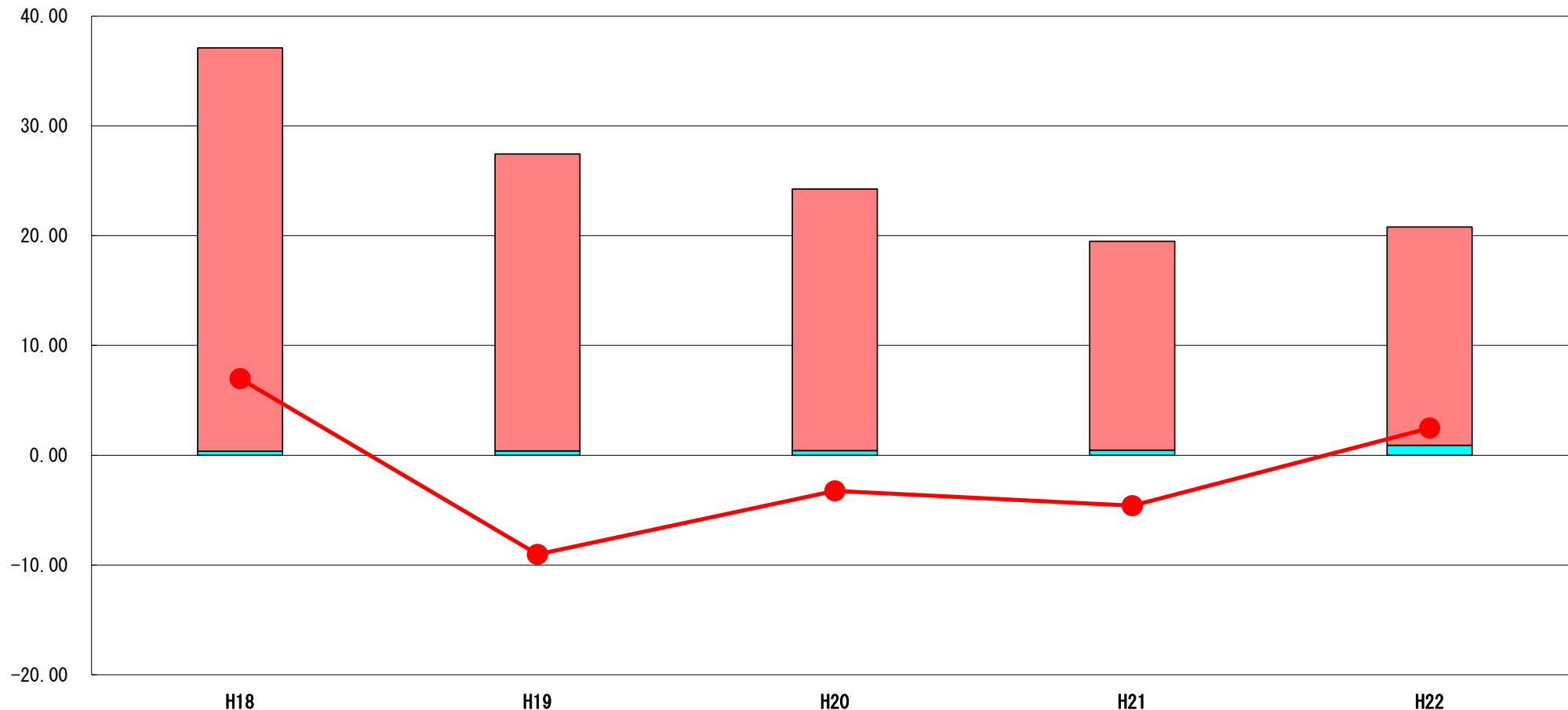


(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成22年度

大阪府島本町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		36.75	27.04	23.82	19.04	19.89
 実質収支額		0.37	0.40	0.43	0.46	0.91
 実質単年度収支		6.98	▲ 9.04	▲ 3.25	▲ 4.59	2.47

分析欄

実質収支については、例年20百万円台で推移していたが、平成22年度はそれを大きく上回って55百万円の黒字となった。これは、団塊の世代の職員の大量退職による職員1人当たりの平均給与の減少及び退職者数の減による退職手当の減額により、前年度比で人件費が大幅に減額となったこと、並びに公共下水道事業特別会計への繰出金を抑制したこと等により、一般財源ベースの歳出が減額となったこと、並びに、普通交付税が212百万円の増額に、臨時財政対策債の発行額が220百万円の増額となる等、一般財源収入が増額となったこと等によるものである。

財政調整基金については、平成19年度から平成21年度までは基金取崩し額により決算調整を行う状況が続いていたが、平成22年度は収支が改善し、年度末残高はやや増加した。